



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東
 コード番号 8111 URL http://www.goldwin.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 二川 清人 TEL 03-3481-7203
 管理統括本部長兼管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	41,168	23.2	5,537	77.0	5,292	94.8	3,597	130.0
2019年3月期第2四半期	33,405	16.2	3,128	123.2	2,716	76.8	1,563	46.8

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 2,475百万円（186.4%） 2019年3月期第2四半期 864百万円（△48.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	79.47	—
2019年3月期第2四半期	34.19	—

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	78,266	40,466	51.6
2019年3月期	77,544	39,609	51.0

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 40,397百万円 2019年3月期 39,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	69.00	85.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	35.00	—

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、2020年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、当初2019年5月14日に公表しました1株当たりの期末配当予想70.00円（年間配当予想100.00円）に実質的な変更はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	14.2	15,000	26.5	16,000	23.2	11,100	20.1	245.23

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 2020年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割が2020年3月期の期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	47,648,172株	2019年3月期	47,648,172株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,367,648株	2019年3月期	2,400,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	45,263,406株	2019年3月期2Q	45,737,556株

※2019年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の売上高は、梅雨から初夏にかけての天候不順の影響で夏物商品の立ち上がりやや遅れたものの、レインウェア等の高単価商品が好調に推移しました。中でも、「ザ・ノース・フェイス」ブランドが直営店のみならず、eコマース販売や卸売店等の幅広い販売チャネルで好調な売上を持続し、前年同期比大幅増収となりました。

また、9月に開幕した「ラグビーワールドカップ2019日本大会」での日本代表レプリカジャージの売上が極めて好調に推移し、「カンタベリー」ブランド商品の販売が上半期としては過去最高を記録しました。さらには10月の消費税率の引き上げを前に秋冬商品の売上が伸長し、全体売上としては、前年同期比7,763百万円の増収となりました。

営業利益については、増収による粗利益の増加に加え、直営店やeコマース販売等の自主管理型売上の拡大、返品・値引等の販売ロス低減、調達原価率低減等により、粗利益率が改善し、粗利益は前年同期比大幅増益となりました。一方で持続的成長のためのインフラ整備やブランドマーケティング費用が増加しましたが、粗利益増加がこれら経費増を吸収した結果、前年同期比2,409百万円の増益となりました。

経常利益については、単体事業や連結子会社での営業増益に加え、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの業績が堅調に推移したことにより、前年同期比2,576百万円の増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高41,168百万円(前年同期比23.2%増)、営業利益5,537百万円(前年同期比77.0%増)、経常利益5,292百万円(前年同期比94.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,597百万円(前年同期比130.0%増)となりました。

なお、記載金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は78,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の減少3,962百万円、投資有価証券の減少1,544百万円があったものの、商品及び製品の増加3,423百万円、受取手形及び売掛金の増加3,004百万円等があったためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ135百万円減少し、37,799百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加3,577百万円、借入金の増加3,090百万円等があったものの、電子記録債務の減少3,096百万円、未払法人税等の減少1,655百万円があったためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ857百万円増加し、40,466百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少1,170百万円があったものの、利益剰余金の増加1,978百万円があったためであります。その結果、自己資本比率は51.6%となっております。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は8,403百万円となり、前連結会計年度末より3,953百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは4,215百万円(前年同期比1,955百万円の支出増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,273百万円があったものの、たな卸資産の増加3,462百万円、法人税等の支払額2,949百万円および売上債権の増加2,021百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは714百万円(前年同期比97百万円の支出増)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出433百万円および差入保証金の差入による支出261百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは1,016百万円(前年同期比452百万円の収入増)となりました。これは主に、配当の支払1,618百万円および長期借入金の返済による支出1,289百万円があったものの、短期借入金の増加4,380百万円等があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日公表の2020年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計の実績に加え、10月以降も秋冬商品の販売が計画通りに進んでおり、連結・個別ともに売上高・利益、全て公表値を上回る見込みとなったことから修正するものであります。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,595	9,632
受取手形及び売掛金	10,461	13,465
電子記録債権	2,813	1,829
商品及び製品	11,688	15,111
仕掛品	62	88
原材料及び貯蔵品	537	548
その他	830	1,200
貸倒引当金	△17	△23
流動資産合計	39,972	41,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,642	1,647
土地	951	951
その他(純額)	1,621	1,914
有形固定資産合計	4,215	4,513
無形固定資産		
商標権	2,374	2,230
その他	923	949
無形固定資産合計	3,297	3,179
投資その他の資産		
投資有価証券	23,730	22,186
差入保証金	2,204	2,372
その他	4,390	4,426
貸倒引当金	△265	△266
投資その他の資産合計	30,058	28,719
固定資産合計	37,571	36,412
資産合計	77,544	78,266

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,215	9,793
電子記録債務	11,296	8,200
短期借入金	328	4,708
1年内返済予定の長期借入金	2,450	2,320
未払法人税等	2,886	1,231
賞与引当金	2,101	1,044
返品調整引当金	109	108
その他	6,156	5,103
流動負債合計	31,544	32,508
固定負債		
長期借入金	4,056	2,897
退職給付に係る負債	259	197
株式給付引当金	536	585
その他	1,537	1,610
固定負債合計	6,390	5,290
負債合計	37,934	37,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	1,439	1,439
利益剰余金	35,709	37,688
自己株式	△4,273	△4,244
株主資本合計	39,956	41,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270	139
繰延ヘッジ損益	56	63
為替換算調整勘定	402	△767
退職給付に係る調整累計額	△1,144	△1,002
その他の包括利益累計額合計	△414	△1,565
非支配株主持分	67	69
純資産合計	39,609	40,466
負債純資産合計	77,544	78,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	33,405	41,168
売上原価	16,600	19,618
売上総利益	16,804	21,550
返品調整引当金戻入額	40	0
差引売上総利益	16,844	21,551
販売費及び一般管理費	13,716	16,013
営業利益	3,128	5,537
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	42	41
その他	32	34
営業外収益合計	79	79
営業外費用		
支払利息	61	48
持分法による投資損失	391	241
その他	38	35
営業外費用合計	491	324
経常利益	2,716	5,292
特別利益		
固定資産売却益	—	19
その他	—	2
特別利益合計	—	21
特別損失		
固定資産処分損	1	2
投資有価証券評価損	—	37
店舗閉鎖損失	2	0
減損損失	22	—
その他	0	0
特別損失合計	26	41
税金等調整前四半期純利益	2,689	5,273
法人税、住民税及び事業税	916	1,330
法人税等調整額	198	315
法人税等合計	1,114	1,646
四半期純利益	1,574	3,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,563	3,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,574	3,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	△130
繰延ヘッジ損益	22	△7
為替換算調整勘定	△68	△26
退職給付に係る調整額	170	140
持分法適用会社に対する持分相当額	△991	△1,127
その他の包括利益合計	△710	△1,151
四半期包括利益	864	2,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853	2,445
非支配株主に係る四半期包括利益	10	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,689	5,273
減価償却費	720	811
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△212	△255
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	△66
減損損失	22	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	7
受取利息及び受取配当金	△46	△44
支払利息	61	48
持分法による投資損益(△は益)	391	241
固定資産処分損益(△は益)	1	△16
売上債権の増減額(△は増加)	△529	△2,021
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,230	△3,462
仕入債務の増減額(△は減少)	661	481
未払金の増減額(△は減少)	△433	△373
未払消費税等の増減額(△は減少)	△472	△781
前払費用の増減額(△は増加)	△226	△98
その他	△386	△1,002
小計	6	△1,260
利息及び配当金の受取額	46	44
利息の支払額	△63	△50
法人税等の支払額	△2,249	△2,949
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,259	△4,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△62	△215
定期預金の払戻による収入	80	238
有形及び無形固定資産の取得による支出	△400	△433
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	1	1
差入保証金の差入による支出	△154	△261
差入保証金の回収による収入	45	80
その他	△122	△122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△616	△714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,100	4,380
長期借入れによる収入	50	—
長期借入金の返済による支出	△1,371	△1,289
リース債務の返済による支出	△343	△456
自己株式の取得による支出	△2,867	△2
配当金の支払額	△1,012	△1,618
その他	9	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	564	1,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,337	△3,953
現金及び現金同等物の期首残高	9,233	12,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,896	8,403

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)および当第2四半期連結累計期間
(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。